

スターリン独裁下の旧ソ連大粛清 道内ゆかり 7人処刑

スパイや反政府の汚名

「労働者の解放」を理念に掲げつつも、スターリン独裁政権下の1930年代半ばは、100万人を超えると思われる自国民や居住外国人がスパイや反革命の罪で処刑された。その中に道内関係者が少なくとも7人(うち1人はロシア人)含まれていることが研究者の調査で明らかになっている。1人を除いて名誉回復が確認され、冤罪が確定している。そもそも道内ゆかりの人の血がなせ遠い異郷で流されなくてはならなかったのか。(編集委員 小坂洋也)



娘のエレーナさんを抱くニコライ・ネフスキーさんと妻イソさん＝「完本 天の蛇 ニコライ・ネフスキーの生涯」から転載

旧ソ連国家保安委員会(KGB)保管の秘密文書など日ソ両国の資料を突き合わせ、ソ連誕生後、社会主義の理念に憧れて各国から移住・亡命者が相次ぎ、30年代には日・富山大名誉教授(同)ら。本人も100人近くいたとみられる。だが、指導者スターリンの猜疑心が、スパイや反ソ連に結びつきさうな勢力の徹底排除を招く。厳しい尋問や拷問で多くの人が身に覚えのない罪を認め、知人や同僚をスパイに仕立てる調書にサインしていた。

ソ連誕生後、社会主義の理念に憧れて各国から移住・亡命者が相次ぎ、30年代には日・富山大名誉教授(同)ら。本人も100人近くいたとみられる。だが、指導者スターリンの猜疑心が、スパイや反ソ連に結びつきさうな勢力の徹底排除を招く。厳しい尋問や拷問で多くの人が身に覚えのない罪を認め、知人や同僚をスパイに仕立てる調書にサインしていた。

犠牲者には、日本を研究するロシア人の妻というだけで

スパイの汚名を着せられ、処刑された人もいた。01年明治34年)、後志管内積丹町生まれの萬谷イソさんだ。夫は小樽高商(現小樽商大)でロシア語を教えたニコライ・ネフスキーさん。先に帰国した夫を追って33年に長女エレーナさん(89)ロシア・サンクトペテルブルク在住)とソ連に移り住んだが、37年に逮捕され夫婦ともに処刑された。

ロシア革命100年



安保由五郎さんの写真を手「悔しかった父の真実をただろ」と伯父の胸中を察する

市は親類と一族の戸籍などを調べて、その不遇にあらためて気づいた。伯父は幼少期、父親に連れられてロシア沿海地方に渡ったのですが、父親は22年に現地で亡くなっていったことが分かりました。由五郎さんは10代前半で、混乱のさなかのソ連に取り残されたことになる。

ア中央部在住のトラクター運転手」と報告されている。新無実の罪で処刑されたのはさーさんは「どこでもいらいから働かないといけない」という事

道内関係者なぜ多い―加藤名誉教授に聞く「労働者の国」へ憧れ強く

日本大犠牲者に道内関係者が目立つのはなぜか。実態解明を続ける加藤哲郎・一橋大名誉教授に聞いた。

◇

ロシア革命直後から秘密警察がつくられ、旧ソ連では反革命の政治犯を取り締まる体制が強化されていきました。そんな中でスターリンのような独裁者が現れると、無実の人を巻き込んだ処刑や強制収容所送りが増える。行き着いた先が大粛清でした。

当時の秘密警察には地域ごとに「何人摘発せよ」と割り当てがありました。日本はドイツと1936年(昭和11年)、共産主義の浸透を防ぐ

おいの新一さん66札幌
同じ37年には、三笠市で08年に生まれ、本籍が夕張市の安保由五郎さんも処刑されていたことが、ロシア人の妻や、同時期に強制収容所に送られた故郷島根蔵さん根岸市出身への聞き取りで明らかになった。

氏名	出身(本籍)地	処刑年	名誉回復
安保由五郎さん	三笠市(夕張市)	1937年	1957
須藤政尾さん	岩見沢市	1937年	1956
萬谷イソさん	後志管内積丹町	1937年	1958
ニコライ・ネフスキーさん(イソさんの夫)	ロシア	1937年	1957
山下尚(別名・吉岡仁作)さん	小樽市	1938年	1989
小石瀧蔵さん	函館市	1938年	1991
木村治三郎さん	函館市	1941年	不

※加藤哲郎・一橋大名誉教授らの調査結果を基に作成
※出身(本籍)地は現在の自治体に直した

た人もいます。最近、「吉岡仁作」が別名と判断された1894年(明治27年)小樽生まれの山下尚さんがその一人です。日本に戻れば逮捕されると考えて、ソ連に向かったとみられます。

特定した北海道関係者でただ1人、名誉回復が未確認なのが、本籍が函館の木村治三郎さんです。「シサブロウ・キムラ」の名前は、1990年にソ連共産党中央委員会が発した膨大な粛清犠牲者リストから拾い出されましたが、KGBの保管文書は見つかっておらず取り調べの経過も不明です。

実態解明の作業は今も続いています。犠牲者の数は今後、増える可能性があります。手がかりとなる情報を寄せてもらえればありがたいです。